

第5章

プランの推進に向けて



芝浦運河

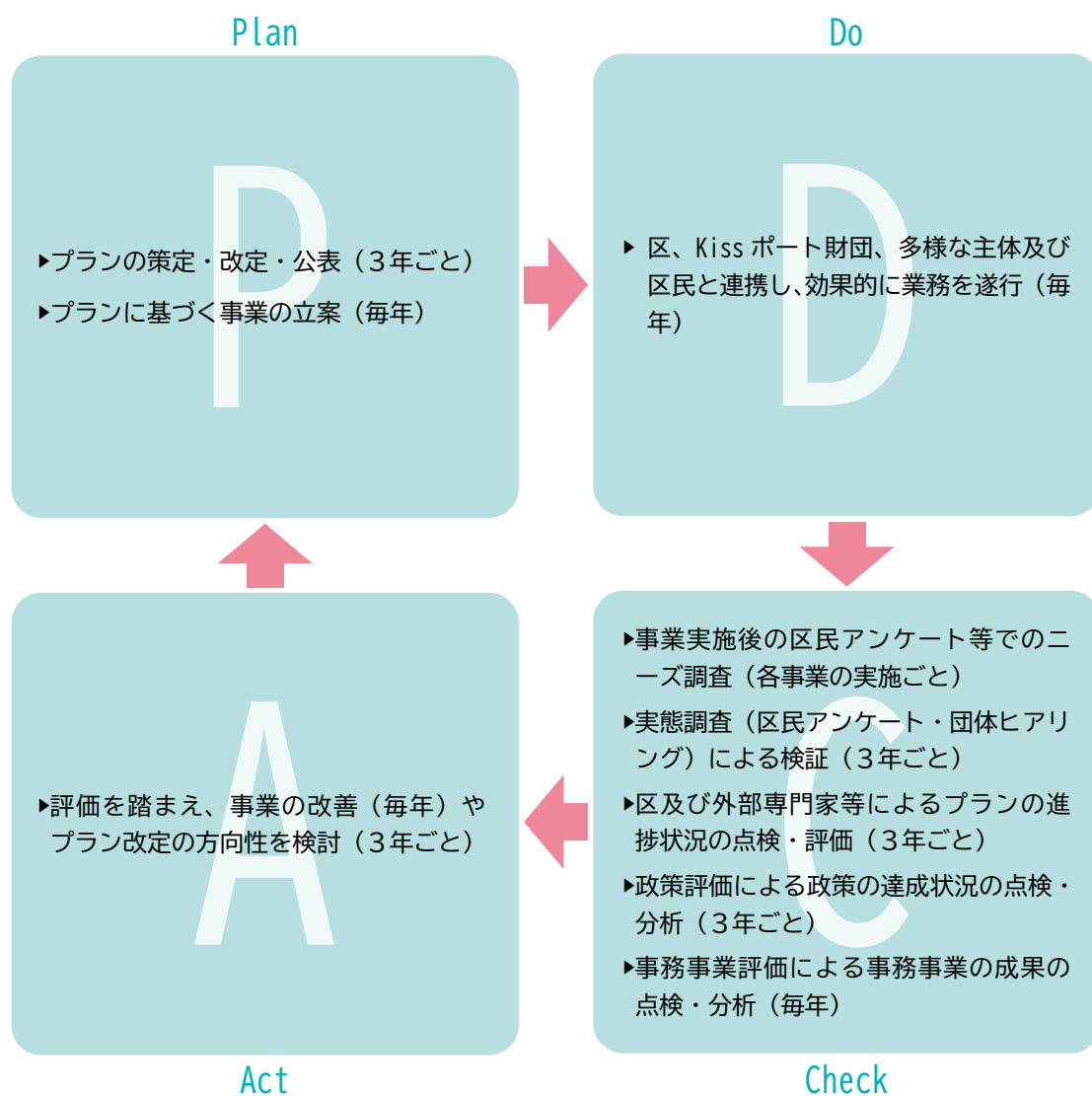
浜松町・芝・大門百景

1

進行管理

本プランの着実な推進のため、区の文化芸術振興がめざす方向性を示すプランを策定し、広く公表する Plan（計画）、それを専門性を生かして実施していく Do（業務遂行）、遂行結果を確認する Check（評価）、評価を基に事業やプランを見直す Act（改善）のサイクルを着実に推進します。

PDCAサイクル



2

障害者の文化芸術活動の
推進

「文化芸術基本法」には、「文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利である」と定められており、障害の有無にかかわらず、等しく文化芸術を鑑賞・参加・創造できる環境を整える必要があります。

令和4（2022）年度に実施した「港区文化芸術実態調査」では、1年間で文化芸術施設などで直接鑑賞しなかった障害者の割合は30%、1年間で文化芸術活動をしなかった障害者の割合は55%存在しています。

また、令和4（2022）年度に実施した「くらしと健康の調査－コロナ禍における保健福祉に関する調査－（障害者調査）」によると、これまでに文化芸術を鑑賞したことがない障害者は約15%、障害児は約28%存在します。

文化芸術への参加・創造に対する障害者の物理的・心理的バリアを取り除くことは、誰もが多様な選択ができる社会を実現するとともに、文化芸術活動全般を

推進し共生社会を実現するために極めて重要です。

平成30（2018）年6月に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行されるとともに、翌年3月には「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画」が策定し、文化芸術活動を通じて、障害者の個性や能力が発揮され、社会参加を促進することが規定されています。令和5年3月には、「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画（第2期）」が策定されました。

障害保健福祉センター（ヒューマンぶらざ）、特別支援学級や障害者支援施設等でのアウトリーチなど、より一層、福祉分野との連携を強化し、障害者による文化芸術活動を推進します。



地域で共に生きる障害児・障害者アート展（再掲）
障害者への理解促進をめざし、区内の障害者施設で制作した作品や障害児（者）が描いた絵画等を美術館等で展示します。



みなとバリアフリーコンサート

障害の有無にかかわらず、音楽を楽しみ豊かな心を育むことを目的として、バリアフリーコンサートを開催します。

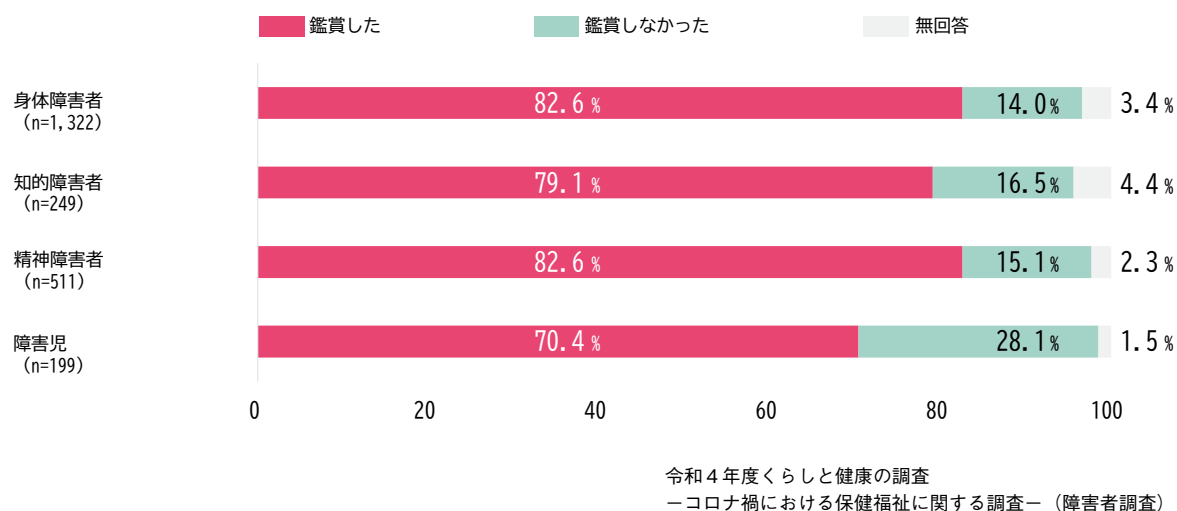


バリアフリー演劇

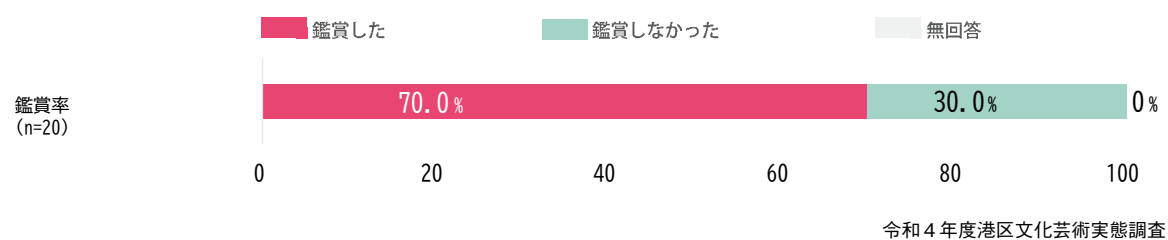
ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～

舞台後方の字幕とライブでの動きなどを俳優が説明する音声ガイドに加え、舞台衣装をまとった手話通訳者が役者と連動しながら舞台上で通訳をする“あらゆる人がともに楽しめる”バリアフリー演劇を開催しました。

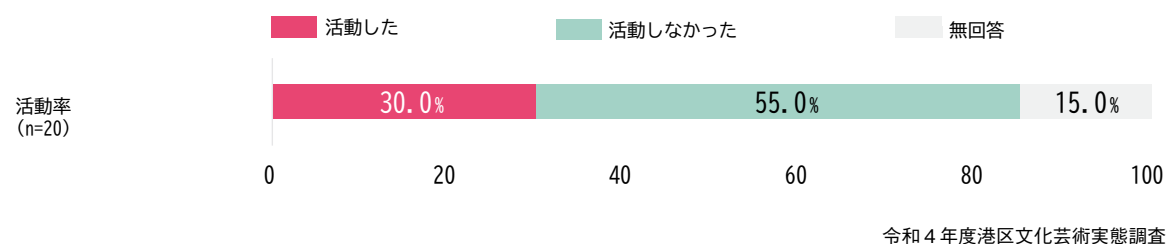
文化芸術の直接鑑賞率（本人に障害のある方）



1年間の文化芸術施設での直接鑑賞率（本人に障害のある方）



1年間の文化芸術活動率（本人に障害のある方）



3

公益財団法人港区スポーツ
ふれあい文化健康財団（Kiss
ポート財団）との連携

Kiss ポート財団は、区民による自主的なコミュニティ活動の支援や、文化やスポーツ振興、健康増進等に関わる様々な事業の実施などを通じて、健康で文化的な区民生活の向上と地域社会の発展に寄与することを目的に、区が出資して平成8（1996）年に設立されました。

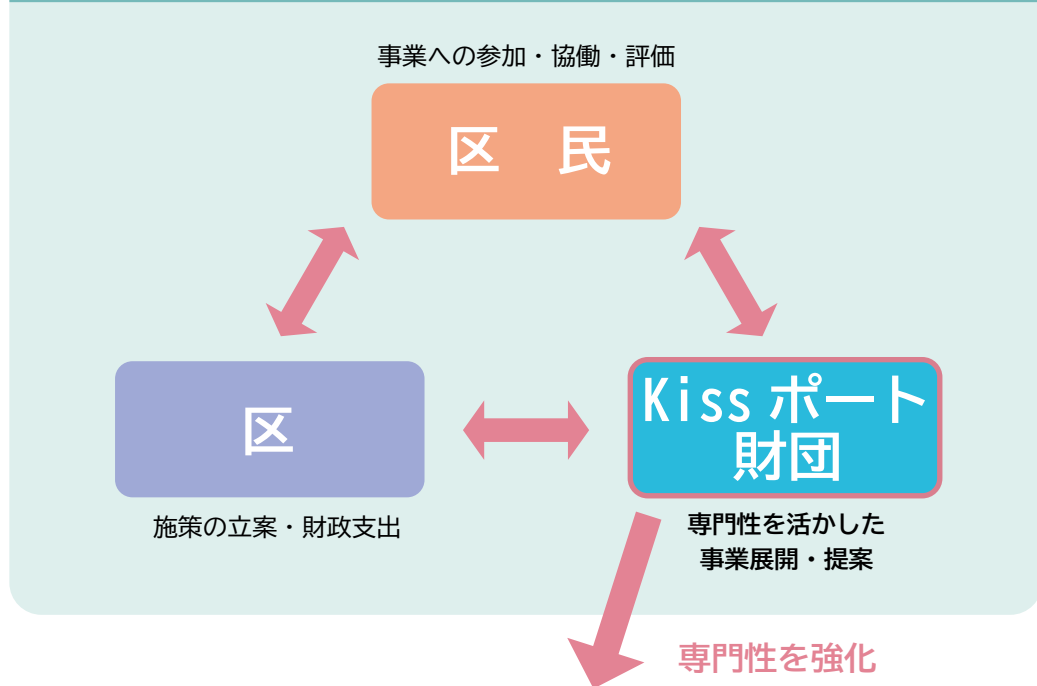
区民ニーズに速やかに対応できる迅速性や民間の発想による柔軟性を持つ一方で、公的な性格を持つ Kiss ポート財団は、これまで区民や地元企業、総合支所との連携のもと、様々な事業を展開し、地域とのつながりや専門性を蓄積してきました。

区が「港区文化芸術振興プラン」で文化芸術振興の方向性を示すのに対し、Kiss ポート財団は、その方向性に沿った事業を、こうした地域とのつながりや専門性を生かし、独自の発想を持って幅広く展開するという役割を担っています。

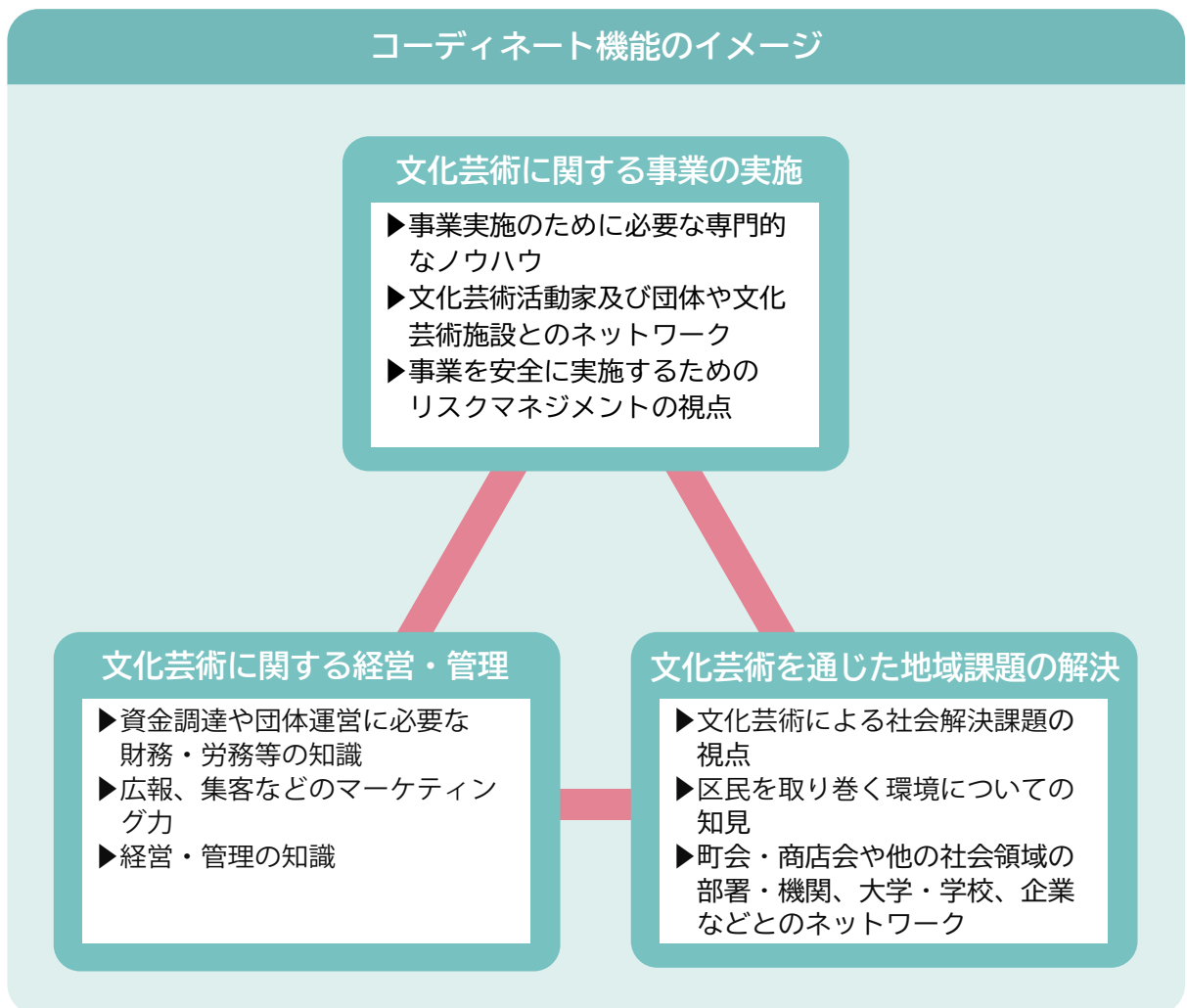
文化芸術が様々な社会課題の解決に果たす役割が注目される中、Kiss ポート財団は、令和3（2021）年度に「文化芸術課」を設置し、文化芸術に関する経営や実務の専門知識を持ち、芸術ジャンルや社会領域を超えた主体間の連携等を支援できるコーディネート機能を備えることで、その専門性をさらに高めていきます。区は、Kiss ポート財団の設立趣旨に鑑み、その専門性の強化を支援します。

本プランの着実な推進に当たり、区と協働のパートナーである Kiss ポート財団を軸として、文化芸術団体や企業、学校等、多様な主体及び区民と一体となって、文化芸術を通じた共生社会の実現を図るとともに、交流や相互理解、それによる多様性を認め合う価値観を醸成するための取組を積極的に展開していきます。

Kiss ポート財団の位置づけ



コーディネート機能のイメージ



4

推進体制の整備

区、Kiss ポート財団、多様な主体及び区民と一体となって推進していきます。

将来像

多様な人と文化が共生し 文化芸術を通じて皆の幸せをめざす
世界に開かれた『文化の港』

区 民

(港区文化芸術振興条例第2条より)

区に居住し、勤務し、
在学し、又は滞在する者

- ・鑑賞する
- ・出演する
- ・体験する
- ・学ぶ
- ・利用する
- ・協働する など

区の文化芸術の中核拠点

みなと芸術センター
(令和9年度開館予定)

港 区

観光

教育

子育て

国際化・文化芸術担当※

保健福祉

地域

芝・麻布・赤坂
高輪・芝浦港南

多様な主体

Kiss ポート財団
文化芸術団体
文化芸術活動家
美術館、博物館
教育関係機関
大使館
企業 など

文化芸術振興を推進する
協働のパートナー

※役割

- ・文化芸術振興に係る施策の企画
- ・港区文化芸術振興プランの推進
- ・Kiss ポート財団の文化芸術事業の調整
- ・みなと芸術センターの整備等

